

西部健康防災公園の計画・整備について

四国建設コンサルタント(株) 正会員 佐々木孝佳

1. はじめに

西部健康防災公園は、徳島県西部の美馬市・三好市の境界付近に位置する「徳島県立美馬野外交流の郷[四国三郎の郷](徳島県)」,「美馬市吉野川河畔ふれあい広場(美馬市)」,「三好市三野健康防災公園(三好市)」,「中島河川防災ステーション[仮称](国土交通省)」の管理者が異なる4施設を含む区域の一体を総称し位置付けられている。

四国三郎の郷はコテージやオートキャンプ場等の宿泊施設や交流体験棟等からなり、吉野川河畔ふれあい広場と三野健康防災公園は、野球・サッカー・パークゴルフ・テニス等の屋外スポーツ施設を有する公園である。

本稿においては、西部健康防災公園の計画の背景や整備内容について示すものとする。

2. 計画方針

西部健康防災公園の計画にあたり、平成26年度に地元2市2町や有識者、防災関係機関等からなる基本構想に関する検討会が設けられた。検討会では、公園利用と防災拠点機能の両者の観点を踏まえて、西部健康防災公園の役割や具体的整備方針、必要な取り組み等を内容とする「西部健康防災公園基本構想」(以下、「基本構想」と称する)が取りまとめられた。

基本構想において示された基本理念は、右図に示すように、平常時における「健康増進」と災害時などに対する「防災」の両面から利用できる「リバーシブルな公園」である。

3. 西部健康防災公園の役割

(1) 「健康」関連

食生活、運動習慣の改善

糖尿病死亡率の改善を図るため、運動習慣の改善を目的として、女性や家族、子育て世代から高齢者までが継続して運動が出来る、「健康づくりのための仲間が集う拠点」となるとともに、クロスカントリーやマラソン大会、各種イベントの開催による、「にし阿波のにぎわい創出の場」としての役割を担う。

(2) 「防災」関連

水防活動

吉野川では、堤防決壊に対し甚大な被害が想定されており、被害最小限化を図るため、吉野川上流域における「水防団等の活動拠点」としての役割を担う。



写真-1 西部健康防災公園全景
(写真提供：徳島県西部総合県民局)

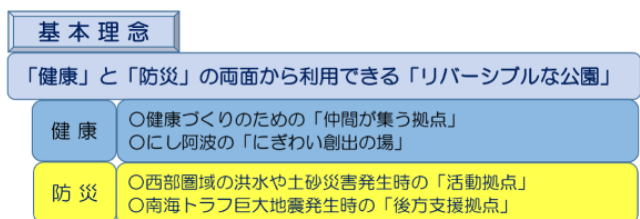


図-1 西部健康防災公園の基本理念

孤立集落対策

本県における土砂災害，豪雪等により孤立する可能性がある465集落のうち，西部圏域には5割を超える245集落が集中している．このため孤立集落発生時の「活動拠点」の役割を担う．

南海トラフ巨大地震対策

津波浸水被害が及ばない西部圏域では，甚大な被害が想定される沿岸地域に対し「広域応援部隊の受け入れ」や「全国からの支援物資の集積・輸送などの後方支援」を行うことが必要であり，その役割を担う．

防災啓発・防災訓練

平常時から防災講座の開催や吉野川の洪水を想定した水防訓練，大規模災害を想定した防災訓練などとおして，防災意識の高揚や災害対応能力の向上を図る「防災啓発の場」としての役割を担う．

4．施設の計画・整備

西部健康防災公園の役割を基に計画した整備施設を以下に示す．

地域住民が気軽に健康増進に取り組めるウォーキングコース(園路，距離標，案内看板等)を整備する．平常時の各種イベント，災害時の広域応援部隊の野営に利用する電源設備を図-3に示す箇所に設置する．高瀬谷川により分断されている両市の公園を，平常時のイベント等の開催，災害時の広域応援部隊活動が円滑に行えるように，小型自動車等の車両が通行できる坂路，歩行者のための通路の整備を行う．災害時は水防活動，広域応援部隊の活動拠点，沿岸地域への後方支援拠点として，会議室，仮眠室，調理室，水防倉庫や，映像・通信・非常用電源等の設備等を備える西部防災館と，全国からの支援物資を集積・配送する物資集積施設を整備する．また，平常時は地域住民の防災意識啓発や健康増進のために，西部防災館は，防災・健康のための講習会に使用でき，物資集積施設はフットサルやゲートボール等，健康づくりに使用できる．この両施設を防災拠点施設とする．



図-3 西部健康防災公園（平常時・災害時）

5．おわりに

西部健康防災公園においては，早期完成を目指し，平成28年度から工事に着手されている．当該施設の整備により，徳島県の災害対応力が高まるとともに，西部圏域における人々の健康増進やにぎわい創出に繋がることを願う．

謝辞

本稿の作成にあたり，徳島県の関係者の皆様に多大なご協力をいただき，心から謝意を表します．

西部圏域(数値:土砂災害等により孤立する可能性がある集落数)

西部健康防災公園

東部・南部沿岸地域(津波浸水被害の可能性がある地域)

図-2 西部健康防災公園位置図